



フードリバー市姉妹都市委員会会長 ニコー・ヤスイ氏が来町 !!

去る6月22日(水)～25日(土)、姉妹都市オレゴン州フードリバー市から、姉妹都市委員会会長を務めるニコー・ヤスイさんとキャサリンさんご夫妻が来町され、鶴田町フードリバー市民と親しくする会の皆さんとともに当町で交流を深められました。今回、訪町された記念にご夫妻にインタビューをお願いして、鶴田町について語っていただきました。

ご家族を紹介してください

ニコー／妻のキャサリンとは5年前大学で仕事をしていたときに知り合い結婚しました。先週(6月15日)、1歳になったばかりの娘のアヤが今フードリバーにいます。仲良し3人家族です。

以前来町した時にくらべて町は変わりましたか？

ニコー／15歳のとき(13年前)に来た鶴田は、まだスチューベ

ンの木が小さく、たくさん栽培されています。スチューベンワインやジュースも今のようになくなりました。まさにブドウの町になりましたね。

町の人たちの印象は？

ニコー／いつ来ても、鶴田の人たちは、すごく優しく温かく歓迎してくれます。キャサリン／日本への初めての



△今年の中学生大使たちと楽しい一時を過ごすご夫妻

旅行でしたが、鶴田町の皆さんが温かく歓迎してくれてとても感激しています。

保育園や各学校を訪問されましたが、町の英語教育についての感想は？

ニコー／保育園の子どもたちはすごく元気でかわいくて鶴田の子どもたちのファンになりました。

ニコー&キャサリン／子どもたちの英語は、保育所から始まってレベルがステップアップしていった中学生、高校生になるとたくさん子どもたちが英会話のためにわたしにあいさつをしてくれます。鶴田町の英語教育は実に素晴らしいと思います。

おじいさん(レイ・ヤスイ氏)と鶴田に関係する思い出は？

ニコーさん／たくさんあります。



△保育園で園児たちと英語ゲームを楽しむ

「なので」と「頭のくほみを忘れてるよー」と冗談を言いました。(おじいさんは若いときはしごから落ちて頭を打ち、病院で手術して頭にくほみがありました。シャワーを浴びたときそこに溜まった水をわたしにかけたり、いろいろな物を隠してわたしを喜ばせていました。)

最後に鶴田町の皆さんにメッセージをお願いします。

ニコー／今回も前回同様に温かく受け入れてくださって本当にありがとうございます。わたしたちフードリバー市民も皆さんがフードリバーにお越しの際は、大歓迎したい気持ちです。35年前、おじいさん(レイ・ヤスイ氏)が始めたこの交流が、現在まで続くことは本当に素晴らしいことです。姉妹都市委員会会長として永遠にこの交流が続くことを心から願っています。

ニコー&キャサリン／親愛なる鶴田町の皆さん、ぜひまたフードリバーへお越しください。



△歓迎会でスピーチするニコー氏

訂正とお詫の

6月号「フードリバー訪問記」で紹介した藤田真綾さん(真澄×真綾)の名前に誤りがありました。訂正し、ご本人様ならびに関係の皆さまにご迷惑をお掛けしましたこと深くお詫の申し上げます。